

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	サウンドエンジニアリング4	
科目基礎情報					
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	サウンドクリエイターコース	開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	30時間
単位数	1単位			授業形態	演習
教科書/教材	単元に応じて配布				
担当教員情報					
担当教員	川島 基宏/甲原 圭		実務経験の有無・職種	有・トラックメーカー/作曲家	
学習目的					
<p>1年で学んだ作曲編曲の技術を2年生ではさらにDAWの中でより精度を磨いた形で作品にしていく。 ミックス・マスタリングにより深い考察と理解をする。 エフェクトや波形編集においては、より音楽性が豊かに感じ取られるトラック制作への知識と技術を身につける。</p>					
到達目標					
<p>実践的なミックスが実現できるように、講義だけではなく各自の作品のDAWデータを見ながらできるだけ解説をする。昨今の音楽は音の仕上げにおいてより複雑でインパクトのある音楽が求められる。EQ、コンプ、リバープなどの考え方をより深めることによって現代のニーズに応えられるミックスの技術を磨く。また生楽器のミックスではより自然な音にするという事がどういふことなのかを学ぶ。 エフェクトを考える意味合いも常に「音楽的」でありことを前提に工夫する思考を磨きたい。 Real Dreamsや卒業制作に反映させる。</p>					
教育方法等					
授業概要	<p>一人ひとりの作品のプロジェクトファイルをモニタリングしながら、それぞれのトラックにしかけてあるプラグインエフェクトや音色に対するアプローチを確認。 考え方をチェックしてより効果的なテクニックがないかを考える。 またミックスやマスタリングに関してはあらためて考え方を講義する。</p>				
注意点	<p>何よりも出席重視という事。そして自分以外の人の作品にも興味と考察を深められるようにしたい。 そのことで多くのジャンルやスタイルに対する対応力が着く。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。</p>				
評価方法	種別	割合	備考		
	試験・課題	30%	課題は必ず提出。内容は考慮しない。		
	小テスト	20%	トピックごとに行う		
	レポート	0%			
	成果発表 (口頭・実技)	0%			
	平常点	50%	出席に重点を置く		
授業計画 (1回～15回)					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	エフェクトに関する知識①	エフェクトの種類とそれぞれの効果に関して理解する			
2回	エフェクトに関する知識②	音楽におけるエフェクトと映像におけるエフェクトの違いを認識し理解する			
3回	エフェクトの応用①	モジュレーション系エフェクトの効果とサウンドを理解し設定方法を習得する			
4回	エフェクトの応用②	位相変調系エフェクトの効果とサウンドを理解し設定方法を習得する			
5回	コンプレッサーに関する知識①	コンプレッサーの意味とそのサウンド効果を理解する			
6回	コンプレッサーに関する知識②	コンプレッサーの種類を把握し設定法を習得する			
7回	コンプレッサーの応用①	部分コンプレッサーのかけ方を習得し野のサウンド効果を理解する			
8回	コンプレッサーの応用②	全体コンプレッサーの意義を理解しその設定方法を習得する			
9回	シンセサイザー概要	キーボードにおけるシンセサイザーとDTMにおけるシンセサイザーの違いを理解する			
10回	シンセサイザーの種類とサウンド	それぞれのシンセサイザーの種類を把握しサウンドバリエーションを理解する			
11回	シンセサイザーの使用方法①	アナログシンセサイザーの特徴を理解しサウンドキャラクターを加味したうえで使用用途を考察			
12回	シンセサイザーの使用方法②	デジタルシンセサイザーの特徴を理解しサウンドキャラクターを加味したうえで使用用途を考察			
13回	卒業制作 (ライブ・合同卒展) ①	エフェクト・コンプレッサー・シンセサイザーを用いて作品制作を行う			
14回	卒業制作 (ライブ・合同卒展) ②	上記作品をミックスダウン～マスタリング作業を行う			
15回	卒業制作 (ライブ・合同卒展) ③	個々のフォルダーにて「ポートフォリオ」作成し卒業案件とする			